

豊田景気実感調査



Viewing over Our Toyota's Economic Condition

第16号

発行日 2019.6.6

令和元年5月調査結果 “豊田の景気実感 やや後退色強まる”

	現状判断D I				先行き判断D I				水準判断D I			
	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合
豊田	44.4	44.5	44.6	44.5	44.2	44.5	33.9	43.8	45.9	49.5	55.4	47.7
全国	44.7	46.0	47.8	45.3	48.8	47.3	47.4	48.4	43.6	46.9	52.6	45.3
東海	46.5	—	—	44.2	48.8	—	—	48.0	45.7	—	—	45.5

※全国、東海は内閣府4月調査 【天気図の見方】 D I 値 大きな晴れ：60点以上 / 晴れ：50～60点未満 / 曇り：40～50点未満 / 雨：40点未満

【調査結果 総括】

〈現状、先行き、水準の各判断（総合）とも半年前に比べ後退し、景況実感D I 値はいずれも横這いを示す50を下回りました。〉

・現状判断D I は、家計、企業、雇用とも悪化し、総合は44.5（前回の51.2に対し、6.7pの下落）に低下しました。業種内訳では、前回50を超えていた企業、雇用が、今回はそれぞれ44.5（10.6pの低下）、44.6（13.2pの低下）と少し大きく低下しました。また企業の中では製造が42.9（11.4pの低下）、家計では飲食が35.4（7.1pの低下）にまで低下しています。

この結果、全国比でも前回優位の雇用や企業が劣位に転じ、総合（44.5）でも全国（45.3）比若干の劣位となりました。

これについてモニターの方からは、「ラグビーワールドカップ、オリンピック等はあるものの、「激化する競争」「消費低迷」や「採用難に伴う人件費等のコスト上昇」といった従来の要因が続いており、加えて「米中貿易摩擦問題」や「消費税増税後の反動」等が負の予見として企業、消費行動等に影を落としているとの声や、10連休も「郊外へ消費場所が移り、当地では来店客が減少した」といった指摘などがありました。結局、それらが相俟って豊田では景況感が少し大きく低下したものと見られます。

・先行き判断D I も同様に低下し、総合では、前回の50.3に対し、今回は43.8（6.5pの低下）でした。内訳では、家計、企業、雇用とも前回のD I 50台から今回はいずれも50台割れとなりました。とくに雇用は33.9（16.1pの低下）でした。

モニターの方からは、ラグビーワールドカップ、オリンピックも一時的なプラス効果であり、それよりも、ガソリン価格上昇懸念や現状判断で見られた負の予見が長期化することの懸念の方が強く意識されている様子です。また、雇用では「受注の落ち着きにより増員に慎重な様子」が窺えるとの声も寄せられています。

・この結果、水準判断D I（総合）は、全国（45.3）比優位を維持しましたが、50台割れの47.7（前回51.3）となりました。

・以上から、豊田の景気実感を総括すると、「先行き不透明感の強まりから、景況実感もやや後退色を強めている」と見られます。

【特別調査】

①所得見直し、小遣い等は、引続きに消費意欲の喚起には乏しい状況が続いています。

②消費税については、マクロ消費動向への悪影響懸念は強いものの、当地消費者の立場からは前回増税時よりは冷静な捉え方をされている様子です。

③キャッシュレス決済は、利用者（利用希望者を含む）は約8割となり、この1年間で確実な広がりが確認されます。

1. 調査期間：令和元年5月1日～27日

2. 調査客体：300名（家計/企業/雇用等） うち有効回答：244名 / 有効回答率：81.3%

3. 調査項目：
 ・2～3ヶ月前に比べ現在の景気はどう変化したと感じますか？ ⇒ 現状判断D I
 ・2～3ヶ月前の景気は現状に比べどう変化すると予想しますか？ ⇒ 先行き判断D I
 ・現在の景気的水準をどう判断されますか？ ⇒ 水準判断D I

<問い合わせ先>

豊田商工会議所：伊藤

0565-32-4595

豊田信用金庫：高橋

0565-36-1384

4. D I 算出方法：

評価段階	5	4	3	2	1
現状判断	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
先行き判断	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
水準判断	良い	やや良い	どちらでも	やや悪い	悪い
付与点数	1	0.75	0.5	0.25	0

各判断項目毎に、評価段階別の回答者数構成比（100%比）を出し、その構成比に上記の付与点数を掛け、合計します。それがD I 値です。

本調査は、豊田市に居住または勤務されている個人の方で、家計、企業、雇用の動向を敏感にキャッチ出来る方を対象に、身の周りの景気の実感を聞く調査です。内閣府の「景気ウォッチャー調査」（こちらは毎月実施）に準じて、豊田商工会議所と豊田信用金庫とが協働し半年に1回（5月／11月）実施しています。また、家計は小売、飲食、サービス、住宅、企業は製造、非製造業から成ります。なお、本調査では別に特別調査を実施しています。

<調査にご協力頂いた皆さまに心よりお礼申し上げます。>

総括

総合DI (豊田) 悪化



●前回比

- ・総合：悪化 (晴→曇)
- ・家計：悪化 (曇濃化)
- ・企業：悪化 (晴→曇)
- ・雇用：悪化 (晴→曇)

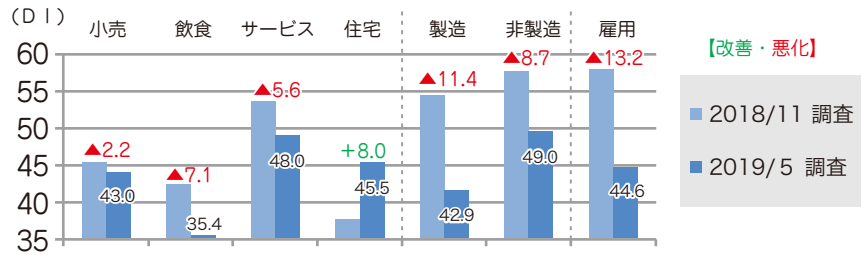
●全国比 (総合は豊田優位)

- ・総合：悪化 (優位→劣位)
- ・家計：不変 (劣位→劣位)
- ・企業：悪化 (優位→劣位)
- ・雇用：悪化 (優位→劣位)

現状判断

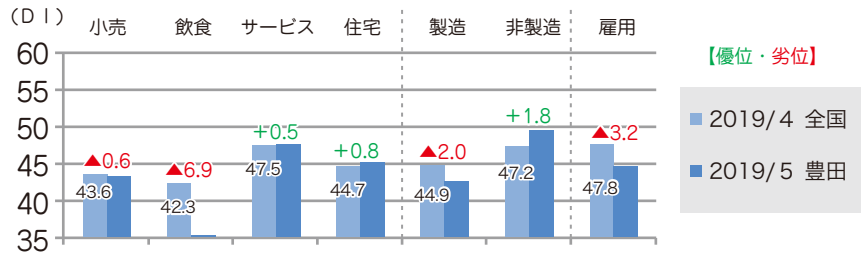
業種別内訳

企業、雇用が大幅悪化。企業の製造、家計の飲食が大幅悪化。住宅は改善



前回比

前回優位のうち、非製造、サービスは優位維持、製造、雇用が劣位に悪化。



全国比

総合DI (豊田) 悪化



●前回比

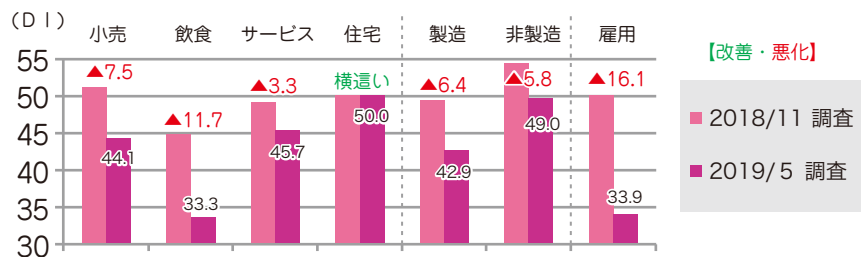
- ・総合：悪化 (晴→曇)
- ・家計：悪化 (晴→曇)
- ・企業：悪化 (晴→曇)
- ・雇用：悪化 (晴→雨)

●全国比

- ・総合：不変 (劣位→劣位)
- ・家計：不変 (劣位→劣位)
- ・企業：悪化 (優位→劣位)
- ・雇用：不変 (劣位→劣位)

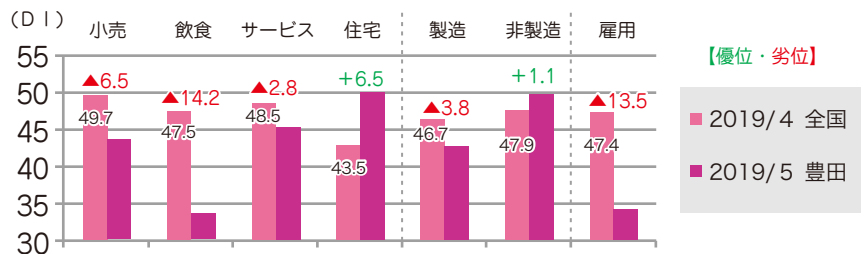
先行き判断

総じて悪化の中、住宅のみ横這い。なお、雇用は特段の悪化。



前回比

非製造、住宅以外は劣位。とくに飲食と雇用が大きく劣位。



全国比

総合DI (豊田) 悪化



●前回比

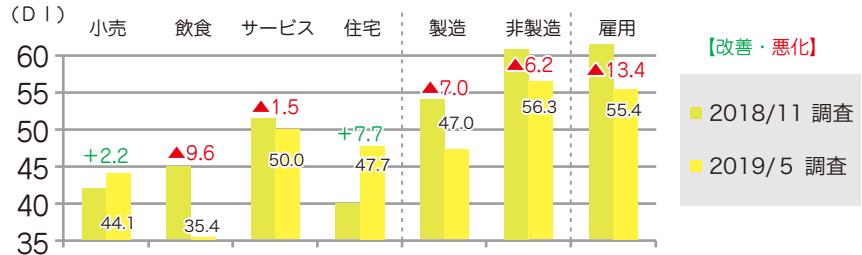
- ・総合：悪化 (晴→曇)
- ・家計：改善 (曇薄まる)
- ・企業：悪化 (晴→曇)
- ・雇用：悪化 (晴→曇)

●全国比 (総合は豊田優位)

- ・総合：不変 (優位→優位)
- ・家計：改善 (劣位→優位)
- ・企業：不変 (優位→優位)
- ・雇用：不変 (優位→優位)

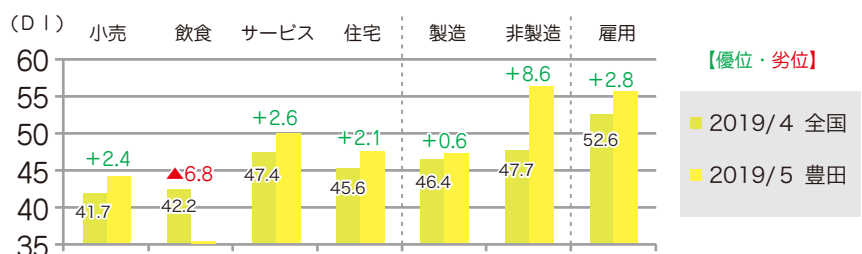
水準判断

一部を除き軒並み悪化。中でも製造が50台割れ、非製造、雇用が60台割れ。



前回比

飲食を除き優位、中でも製造、非製造、雇用、サービスは前回優位を維持。

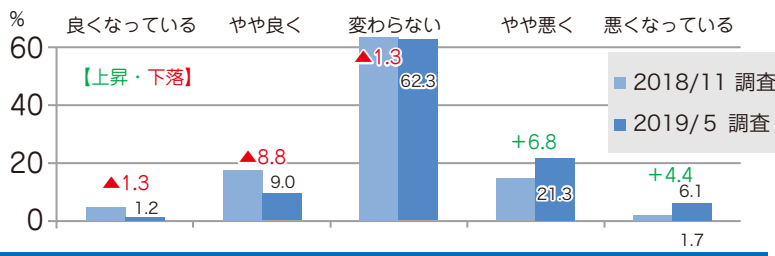


全国比

評価段階別内訳

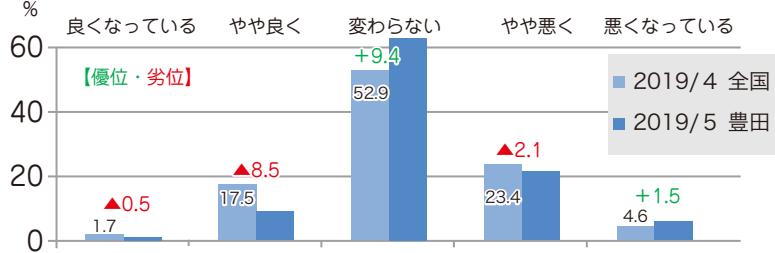
良化評価、“変わらない”から悪化評価へ回答がシフト。

前回比



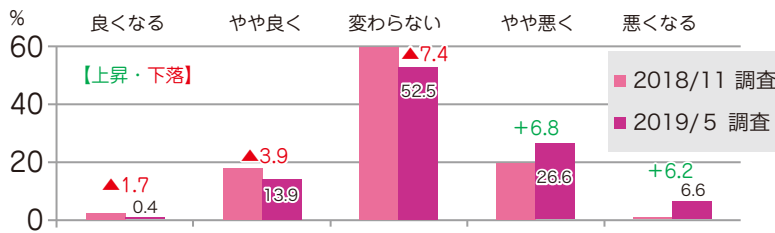
全国比“やや良く”が少なく、“変わらない”が多い。

全国比



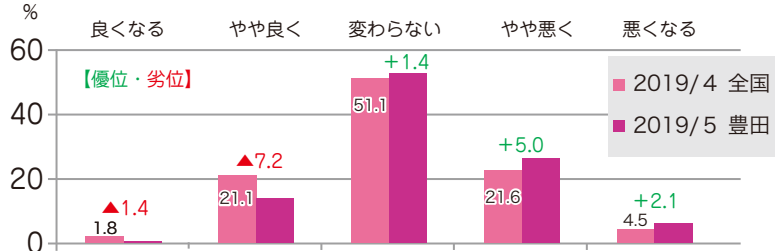
良化評価、“変わらない”から悪化評価へ回答がシフト。

前回比



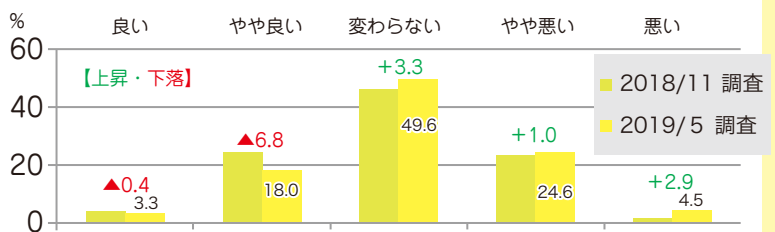
全国比良化評価が少なく、“変わらない”、悪化評価が多い。

全国比



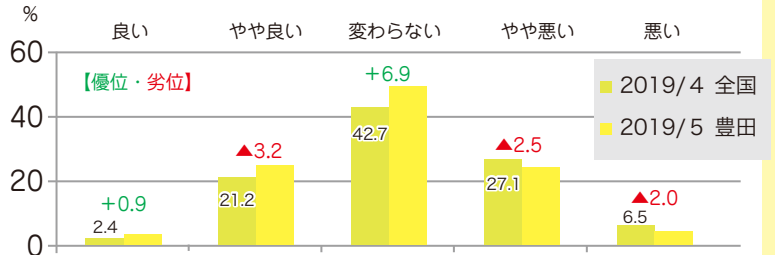
良化評価、“変わらない”から悪化評価へ回答がシフト。

前回比



全国比“変わらない”が多く、“やや良い”、悪化評価が少ない。

全国比



景気モニター一生の声

< + : 回復感あり - : 回復感なし >

※家計動向=家、企業動向=企、雇用関連=雇、と略

- + : 出張利用は減少したが、10連休で普段と異なる客層の利用が増え、例年より観光利用が増加している。(家/サービス・都市型ホテル経営者)
- + : パソコンやAV家電の相談、販売数が増加している。(家/サービス・家電量販店経営者)
- + : ゴルフ場の来場者が増えている。(家/サービス・ゴルフ場従業員)
- + : 少しずつ高価なオプションを頼まれるようになった。(家/サービス・美容院経営者)
- + : リフォーム案件が増税関係で増加している。(家/住宅・設計事務所経営者)
- : 変則10連休で例年に比べ商品の動き、来客数ともに悪い。(家/小売・商店街代表者)
- : 自動車産業の先行き不透明感や、予算削減など厳しい状況が続いており、景気好転の浮かれた様子はない。(企/製造・輸送用機械器具従業員)
- : 自動車部品関連や設備関連業者など、業務量が落ちている、または減っている先が大多数。(雇/職業安定所職員)
- : 市場の縮小、販売量減、単価減。(企/非製造・その他製造業従業員)

< + : 回復感あり - : 回復感なし >

※家計動向=家、企業動向=企、雇用関連=雇、と略

- + : オリンピック関連の受注が入ってきている。(家/小売・一般小売経営者)
- + : ラグビーワールドカップで一時的に良くなるのでは。(家/小売・スーパー従業員)
- + : 3ヶ月後の受注内示から、まだ見通しは明るい。(企/製造・金属製品経営者)
- + : 消費税増税の駆け込み需要が期待できる。(企/製造・輸送用機械器具従業員)
- : 消費税増税に対する先行き不安、プレグジット、米中問題による世界経済の悪化が懸念される。(家/小売・車部品販売店経営者)
- : 廃業する店舗が増えている。(家/サービス・旅館経営者)
- : ガソリン等、悪い物価上昇。(家/住・設計事務所経営者)
- : 原料高騰、物流費高騰分を売価に転嫁したいが販売数から踏みとどまっているとの話を聞く。(企/製造・食品製造業経営者)
- : EV化による製品変動に伴う受注競争が激化していく見通しである。(企/製造・金属製品経営者)

自由回答：景気モニターからの貴重な声

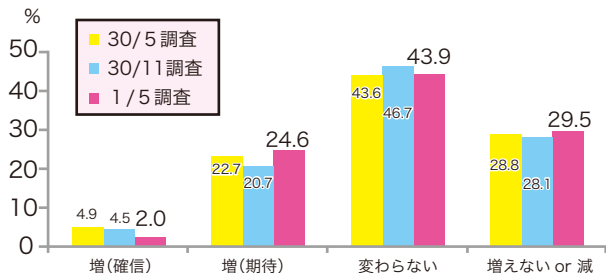
- ・ 中心市街地の長年営業している店舗の閉店が続き、寂しいとともに街全体の集客が減りそうで危惧している。求人難、後継者不足、来客数減少と課題は多い。
 - ・ 公共交通機関の充実、名古屋圏へのアクセスの改善、教育や文化・魅力ある街になることを希望します。
 - ・ キャッシュレス決済の拡充を商工会議所が先頭に立って行ってほしい。豊田市がキャッシュレスな街になれば、スマートシティにつながると思う。観光客も増えるのではないかと？
 - ・ 今回の10連休で学童、こども園ともに休みになり、主婦層のパートさんのシフトに大変苦労しました。今後休日祝日問わずフレキシブルに利用できる託児サービスが普及する事を願っています。また、企業での託児を支援するサービスや補助金なども期待します。
 - ・ 米中貿易戦争の余波により日本の景気は悪くなる。そこにきて消費税増税の追い打ち。景気が良くなる材料は何もない。オリンピックも一時的。ちょっと不安になる。
- ～ 貴重なご意見、ありがとうございました。～

【特別調査】

所得見通し※・消費意欲の調査 ※平成24年から調査を継続しています。

今後、所得は増えていくと思いますか？

所得増確信・期待者数の割合 26.6% (前回 27.6%)

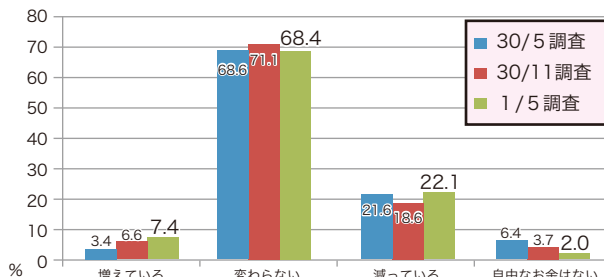


所得増への期待感足踏み

前年に比べ「所得増を確信」(2.9%の減少)と「期待する」(1.9%の増加)との合計では1.1%の減少。一方、「増えないあるいは減る」は0.7%増加となっており、全体として期待感は足踏みしています。

自由に使えるお金【小遣い等】は増えましたか？

“増えている”割合 7.4% (前年比+4.0%)



「変わらない」との回答に大きな変化なし

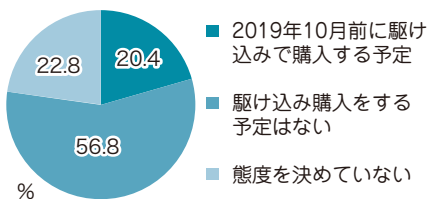
「増えている」は増加したものの7.4%止まり。一方、「減っている」が22.1% (前年比+0.5%)、「変わらない」が68.4% (▲0.2%)あり、全体として大きな動きは見られません。

目前に控える消費税増税の「消費」への影響調査

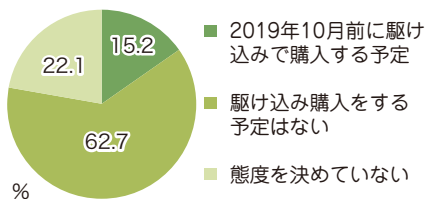
目前に控える本年の10月の消費税率引上げ(8%→10%)時の消費への影響をトレース調査しました。

消費税率引上げ前の消費行動

8%増税時



今回10%増税時



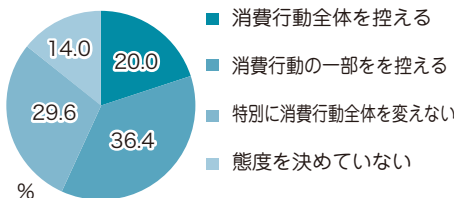
駆け込み購入予定品ベスト3

- 1位 自動車
 - 2位 家電/家具
 - 3位 住宅リフォーム
- 圏外 結婚式費用・時計

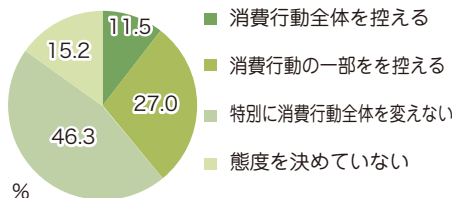


消費税率引上げ後の消費行動

8%増税時



今回10%増税時

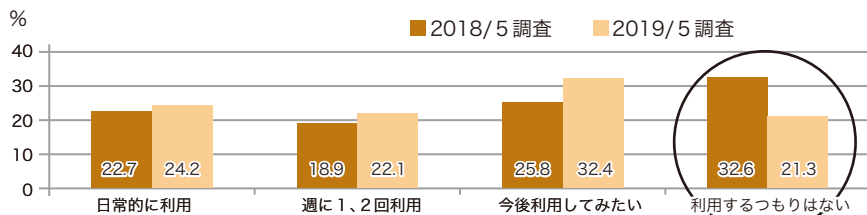


8%増税時の10%増税時の予測に比べ、今回は、引上げ前の駆け込みや引上げ後の消費手控えの意向がかなり抑制されています。とくに、消費税引上げ前後で消費行動を変えないとする方が約半数にまで増加しています。しかし、一方でモニターの方からは、増税後の反動や消費税引上げの消費動向の不透明感の声も強まっています。

キャッシュレス決済の利用状況調査

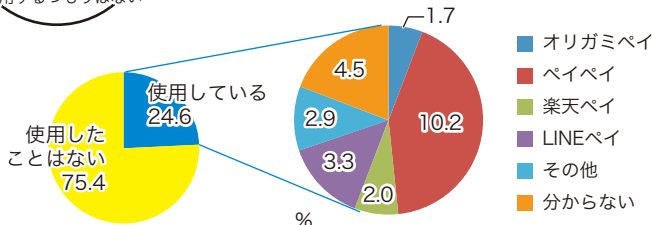
2018年5月調査結果に続いて、キャッシュレス決済(電子マネー)についてトレース調査しました。

「電子マネーを利用するつもりはない」前回調査比11.3%減少。
キャッシュレス決済は確実に拡がりを見せています！



QRコード決済が注目され、各社競争が激しくなっています。利用したことのあるQRコード決済を調査しました。

4人に1人の利用状況の中で、ペイペイが1歩リードの様相です。



今回調査では、「利用するつもりはない」が大きく減少する一方で、利用者(利用希望者も含む)は約8割(78.7%)に達しました。既利用者の利用場所の多くはコンビニやスーパー、公共交通機関であり、日用品や食料品など幅広く購入されている様子です。中には全てキャッシュレス決済に移行されている方もおられます。今後も適宜、キャッシュレス決済のトレース調査を継続します。